

学校施設のブロック塀等緊急点検について

6月18日、「大阪府北部を震源とする地震」により、学校施設のブロック塀が倒壊し、重大な事故が発生しました。

県教育委員会では、災害時だけでなく平時においても事故の未然防止を図るため、県立学校に対し、6月19日付けで施設の安全確保を注意喚起するとともに、学校敷地内におけるブロック塀等の緊急安全点検を実施しました。

1 点検結果

県立学校 45校（高等学校、特別支援学校）

- | | |
|---|------------|
| ・ ブロック塀がある学校 | <u>30校</u> |
| ・ 点検表による総合評点が55点未満又は
現行の建築基準法に適合しないブロック塀がある学校 | <u>25校</u> |
| うち 早急な安全対策が必要な学校 | <u>17校</u> |
| （40点未満の学校7校、塀の高さ2.2m超又は控壁のない高さ1.2m超の塀で道路沿いにある学校10校） | |

2 対応方針

(1) 当面の応急処置

点検表による総合評点が55点未満の学校など25校において実施

- ・ 張り紙等による注意喚起や、ロープ等による立ち入り禁止措置
- ・ 近隣の小中学校等への周知

(2) 安全対策の実施

①早急な安全対策が必要な学校17校について

- ・ 既存ブロック塀等を解体撤去し、フェンス等の設置工事などを実施

②上記の17校以外の8校について

- ・ 専門家による詳細調査を実施し、安全状況を確認
- ・ 調査結果を踏まえ、必要に応じて対応

③その他全てのブロック塀について

- ・ 安全性の再確認のため、専門家による詳細調査を実施

<市町村立学校>

市町村教育委員会に対し、6月19日付けで所管学校施設内にあるブロック塀の点検方法など情報提供を行い、緊急安全点検の実施を要請。

今後の対応については、必要に応じ県建築部局と連携し、危険箇所のブロック塀撤去工事など応急的処置について相談・指導するとともに、安全対策の手法など、技術的支援・助言を実施。